

作成者：作成日	管理グループ	白倉 武芳	平成23年4月28日
承認者：承認日	環境管理責任者	木村 純一	平成23年4月29日
	代表取締役	永田 靖夫	平成23年5月10日

# 環境活動レポート

平成22年度 (H22. 4. 1~H23. 3. 31)



## 目 次

環境方針	2P
会社概要	3P、4P
環境への負荷チェック	5P、6P
環境負荷削減目標	7P
具体的な環境活動計画の内容と取り組み状況	8P、9P
環境負荷削減目標と実績の評価	10P、11P、12P
まとめ、代表者のコメント	12P
環境関連教育	13P
環境関連法規への違反、訴訟等の有無	13P
新潟事業所、各営業所（本社、大阪、姫路）の活動実施状況	14P～23P

## 環 境 方 針

永田精機(株)は、工業用編機、電子部品実装工程機器、各種自動機・省力化機器、薄膜成膜・表面改質装置の開発、製造及び受託加工、商品の販売を通じ、環境負荷削減に配慮した事業活動を展開していく。

### 1. 省資源・省エネルギー活動の推進

事業活動全領域で、省資源、省エネルギーに配慮した活動を行う

製品生産量 (t) 当りのCO<sub>2</sub>排出量の削減

製品生産量 (t) 当りの水資源使用量の削減

製品生産量 (t) 当りの紙資源 (コピー用紙) 使用量の削減

製品生産量 (t) 当りの一般・産業廃棄物排出量の削減

グリーン購入 (事務用品) の推進

### 2. 環境関連法規の遵守

該当する環境関連の法規制や条例、当社が同意するその他の要求事項を遵守する

### 3. 継続的環境負荷削減の実施

環境マネジメントシステムを構築し、継続的に環境負荷削減に取り組む

### 4. 環境啓発活動の推進

全従業員に対して環境方針の周知徹底を図るとともに、環境教育を計画的に行う

### 5. 環境関連情報の公表

環境活動レポートを当社HPで公表する

平成22年12月1日改訂

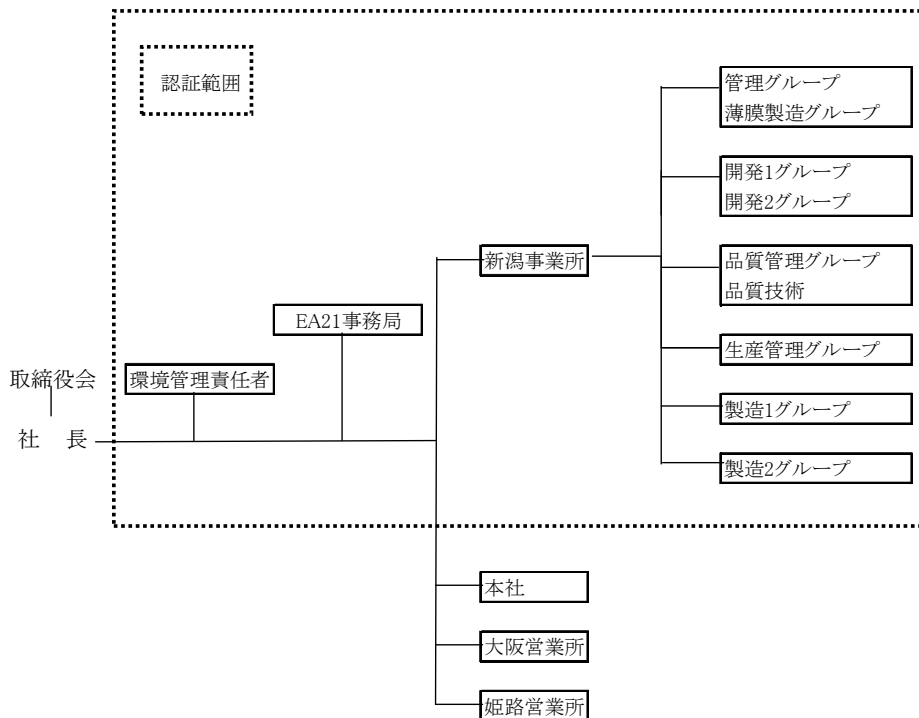
永田精機株式会社

代表取締役 永田 靖夫



## ●会社概要

- 1) 名称及び代表者  
永田精機株式会社  
代表取締役 永田 靖夫
- 2) 事業所とエコアクション21認証範囲



本社、大阪営業所、姫路営業所は、H23年度に認証範囲に含める予定

- 3) 事業所及び所在地
  - エコアクション21認証取得事業所**

永田精機株式会社 新潟事業所 新潟県燕市上諏訪8番2号

### ○**認証範囲に含まれない事業所**

永田精機株式会社 本社	東京都豊島区北大塚2-24-5
永田精機株式会社 大阪営業所	奈良県大和高田市日之出西本町6-23
永田精機株式会社 姫路営業所	兵庫県姫路市西庄甲108

- 4) 環境管理責任者及び環境活動推進責任者

・環境管理責任者 取締役 木村 純一

・環境活動推進責任者

製造1グループ マネージャー 小林 幸人

製造2グループ マネージャー 山宮 秀昭

開発 1.2 グループ	マネージャー	大久保 善光
生産管理グループ	マネージャー	大原 隆
品質管理グループ	マネージャー	大澤 洋一 (品質技術兼務)
管理グループ	マネージャー	白倉 武芳
管理グループ	マネージャー	新保 健 (薄膜グループ兼務)
本社		横田 美香
大阪営業所	サブマネージャー	岡本 栄一
姫路営業所		中井 一夫

連絡先

管理グループ 白倉、新保

電話 0256-98-5131 (代表) FAX 0256-98-5642 (代表)

E-mail : [take-sirakura@nagata-seiki.co.jp](mailto:take-sirakura@nagata-seiki.co.jp)

5) 事業の内容

工業用編機、電子部品実装工程機器、各種自動機・省力化機器、薄膜成膜・表面改質装置の開発、製造及び受託加工、商品の販売

6) 事業の規模

事業年度	単位	H19 年度	H20 年度	H21 年度	H22 年度
製品生産量	t	323.4	223.7	132.8	216.6
従業員数 (新潟事業所)	人	189	186	175	167
従業員数 (本社)	人	8	5	5	5
従業員数 (大阪営業所)	人	4	5	3	2
従業員数 (姫路営業所)	人	2	2	1	1
床面積 (新潟事業所)	m <sup>2</sup>	16,235	16,235	16,235	16,235
床面積 (本社)	m <sup>2</sup>	791	791	660	660
床面積 (大阪営業所)	m <sup>2</sup>	35	35	35	35
床面積 (姫路営業所)	m <sup>2</sup>	21	21	21	21

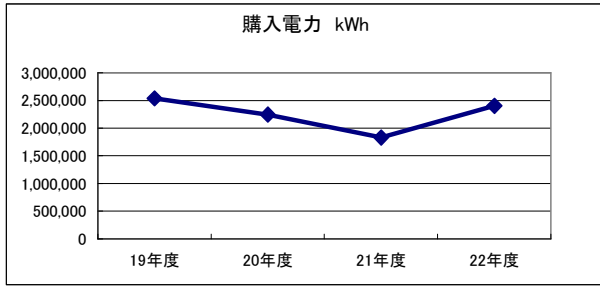
事業年度 : 4月～3月

# ● 環境への負荷チェック

(新潟事業所、本社、大阪営業所、姫路営業所の合計)

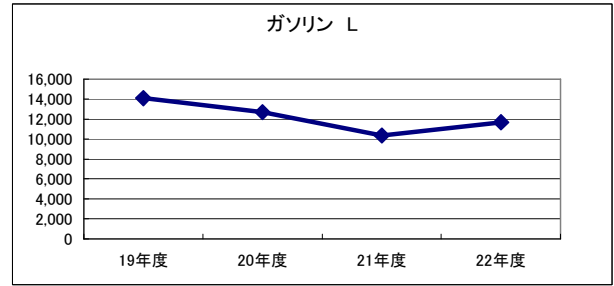
## 環境負荷実績グラフ

使用量・消費量



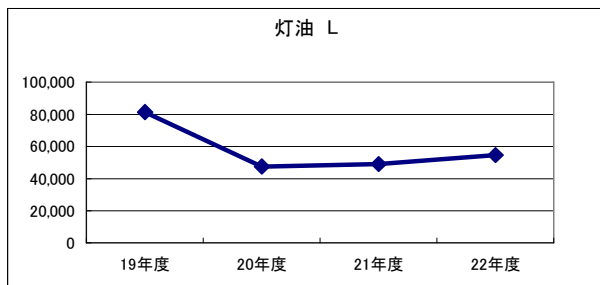
項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
購入電力	kWh	2,535,716	2,245,481	1,831,513	2,400,452

使用量・消費量



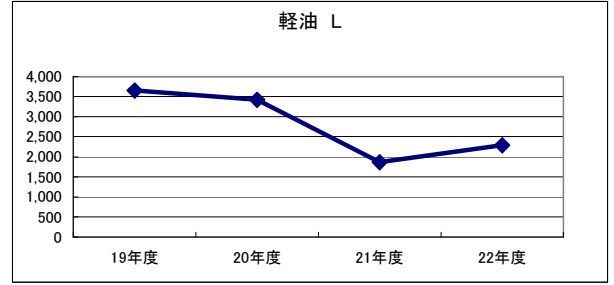
項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
ガソリン	L	14,095	12,684	10,342	11,673

使用量・消費量



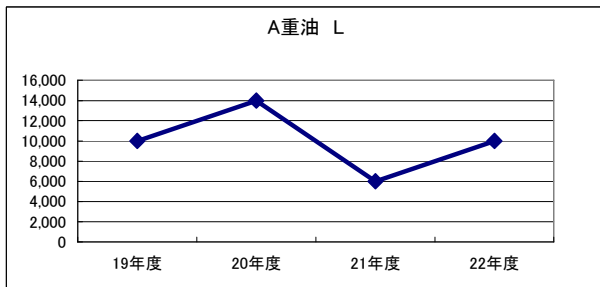
項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
灯油	L	81,323	47,531	49,001	54,706

使用量・消費量



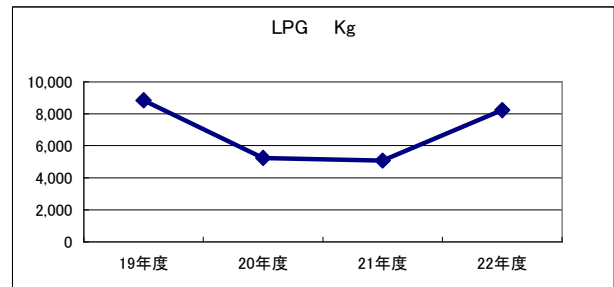
項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
軽油	L	3,649	3,418	1,864	2,287

使用量・消費量



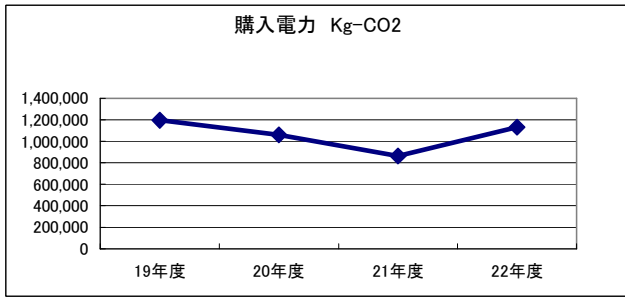
項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
A重油	L	10,000	14,000	6,000	10,000

使用量・消費量



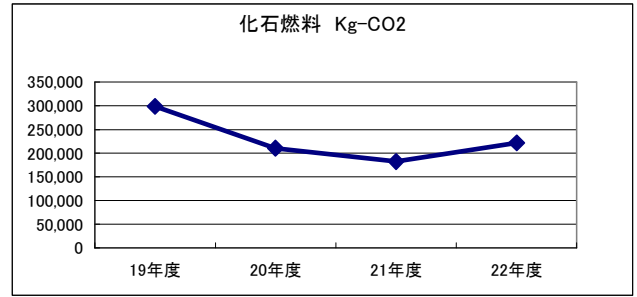
項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
LPG	Kg	8,848	5,251	5,075	8,232

二酸化炭素排出量



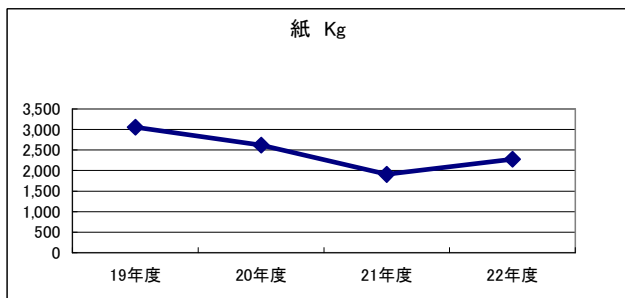
項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
電力	kg-CO2	1,196,037	1,058,984	863,572	1,132,028

二酸化炭素排出量



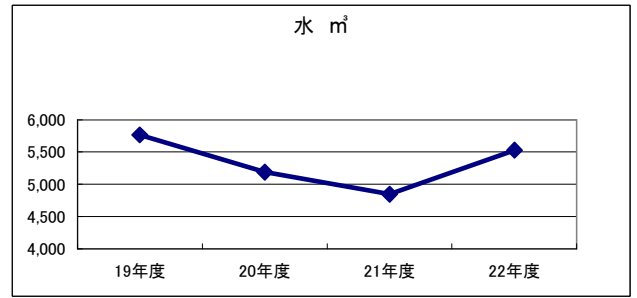
項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
化石燃料	kg-CO2	298,609	210,560	182,502	221,236

使用量・消費量



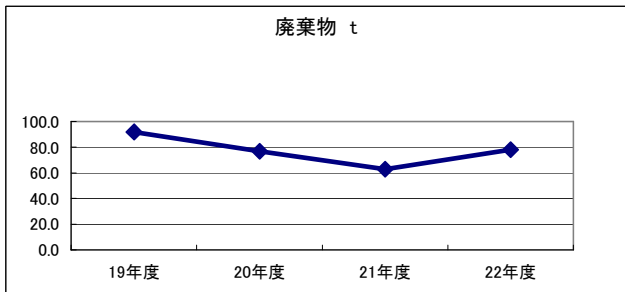
項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
紙	kg	3,053	2,615	1,904	2,279

使用量・消費量



項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
水	m³	5,765	5,188	4,846	5,528

排出量



項目	単位	19年度	20年度	21年度	22年度
廃棄物	t	91.8	76.7	62.7	77.9

## ● 環境負荷削減目標

当社は、以下の目標を掲げて環境活動に取り組んでいく

### 長期目標

平成21年度を基準として、平成24年度末までに

- 「製品生産量当りの二酸化炭素排出量（電力、化石燃料）を、毎年1%ずつ、3%削減する」
- 「製品生産量当りの紙消費量、水資源消費量、廃棄物排出量を、毎年1%ずつ、3%削減する」

### 短期目標

平成21年度を基準として、

- 「製品生産量当りの二酸化炭素排出量（電力、化石燃料）を、1%削減する」
- 「製品生産量当りの紙消費量、水資源消費量、廃棄物排出量を、1%削減する」

### 二酸化炭素排出量 (Kg-CO<sub>2</sub>) の削減目標

製品生産量 (t) 当り 二酸化炭素合計 (kg-CO <sub>2</sub> )	H21 基準	H22目標	H23目標	H24目標
	8,211	8,129	8,047	7,965
H21を100としての指数	100	99	98	97

### 紙消費量削減目標

製品生産量 (t) 当り 紙消費量 (Kg)	H21 基準	H22目標	H23目標	H24目標
	14.34	14.20	14.05	13.91
H21を100としての指数	100	99	98	97

### 水資源消費量削減目標

製品生産量 (t) 当り 水資源消費量 (m <sup>3</sup> )	H21 基準	H22目標	H23目標	H24目標
	36.49	36.13	35.76	35.40
H21を100としての指数	100	99	98	97

### 廃棄物排出量削減目標

製品生産量 (t) 当り 廃棄物排出量 (Kg)	H21 基準	H22目標	H23目標	H24目標
	472.14	467.42	462.70	457.98
H21を100としての指数	100	99	98	97

### この他

環境に配慮した製品を製造する  
公害等に関する法令を遵守する

## ●具体的な環境活動計画の内容と取り組み状況

環境目標を達成するために、各項目に対して下記の手順で消費量の削減を図っていく

数値目標を達成するための取り組み（概ね実施＝○、一部実施＝△、未実施＝×）

### ①電力使用量の削減項目

項 目	取り組み状況
●休日出勤時、残業時、職場内の照明は必要最小限にする	○
●休憩時間は、蛍光灯を消灯する（作業台を含む）	○
●作業者不在となる職場の蛍光灯は消灯する	○
●自然光をできるだけ取り入れ、窓側の蛍光灯を消灯する	○
●作業に支障が無い所の蛍光灯は、常に消灯する	○
●通常使用する照明スイッチにマーキングし、必要な時しか点灯させない	○
●モニター等、OA 機器購入時は、消費電力が低い物を選定する 【管理】	○
●職場内で不要と思われる場所の蛍光灯、換気扇を消す	○
●手洗い場、トイレの蛍光灯は、使用時のみ点灯する	○
●照明器具を年一回掃除する	○
●室内空調の温度設定を、夏は28度、冬は20度とする	○
●帰宅時、最後の人は冷暖房、プリンター、コピー機の消し忘れをチェックする	○
●コピー機は使用したら待機状態にする	○
●5分以上席を離れるときは、パソコンの画面スイッチを切る	○
●プリンターやシュレッダーなどは、使う時のみスイッチを入れる	○
●未使用機械のブレーカーは切る 【製造1・2】	○
●無人運転のNC機械のディスプレイ画面は消す 【製造2】	○
●休出時、またはエアーの必要がない工場の元栓を締める 【製造1・2】	○
●設備機械の漏電、エアー漏れを月一回点検する 【製造1・2】	○
●エアコンのフィルターは、年二回清掃する	○
●製造方法、製造工程に改善を加え、効率的に製造を行う 【製造1・2】	○
●デマンドモニターを監視し、必要に応じて新潟事業所内の空調設備使用の制限を行う 【管理】	○

### ②化石燃料消費量の削減項目

項 目	取り組み状況
●冷暖房を極力無くし、各自衣類などで調整することを推進する	○
●暖房用ボイラーの設定温度を55度とする	○
●手洗用給湯器の温度設定を40度とする 【品質、管理、製造1・2】	○
●社用車運転時、急加速、急発進、空ぶかしをしない	○
●社用車運転時のアイドリングストップを推進する（駐停車中）	○
●社用車の定期的整備による燃料効率向上、排ガス・騒音レベルの抑制を推進する 【品質、管理、生産管理、本社、大阪、姫路】	○
●作業終了一時間前にボイラーを停止し、装置内の余熱を有効利用する 【新潟事業所】	○

### ③紙消費量の削減項目

項 目	取り組み状況
●社内連絡文書はメール化して、紙を使わないようにする	○
●文書で連絡する場合は、回覧、掲示を励行し、配付枚数を減らす	○
●コピーの縮小機能を利用し、紙の消費量を抑える（A4を推奨）	○

●裏紙使用、両面印刷を推進し、紙の消費量を抑えるようにする	○
●プロジェクターの利用を推進し、会議用資料の配布を抑える 【新潟事業所、本社】	△
●ミスコピーを防止するため、コピー機の使用後は設定をリセットする	○

④水消費量削減項目

項 目	取り組み状況
●手洗い場に洗面器を設置し、溜め水での手洗いを推進する	○
●水道配管からの漏洩を月一回点検する	○
●バルブの調整により水量及び水圧の調整を行う【新潟事業所】	○

⑤廃棄物排出量削減項目

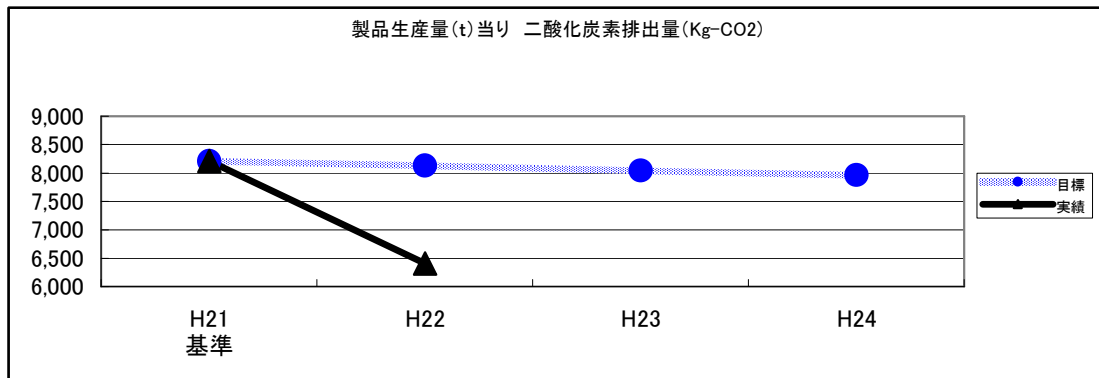
項 目	取り組み状況
●シュレッダー使用後のくずを、梱包用クッション材に再利用する 【新潟事業所、本社】	○
●納品に使用されたダンボール箱は、再利用する【品質、生産管理、製造1・2】	○
●部品払出しに使用されたビニール袋は、再利用する【生産管理、製造1】	○
●トナーカートリッジは回収・再生し、リサイクルに努める	○
●廃棄物の分別回収を徹底し、再資源化に協力する	○
●品質劣化等による不良在庫を減少させるため、在庫数の適正化に努める 【生産管理】	○
●OA機器等の故障時には、修理可能かどうか確認し、可能な限り修理することで長期使用に努める	○

⑥グリーン調達

項 目	取り組み状況
●環境に配慮した事務用品の購入に努める【管理、本社、大阪、姫路】	○

## ● 環境負荷削減目標と実績の評価

二酸化炭素排出量 「評価＝達成」



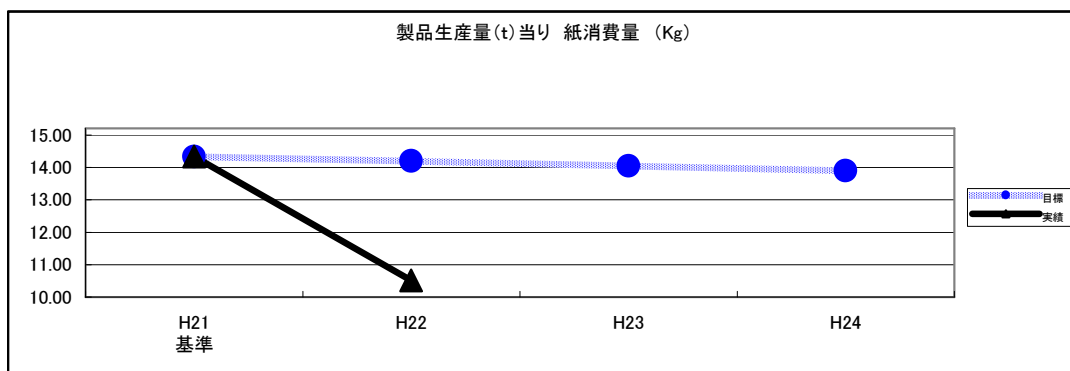
製品生産量 (t) 当り 二酸化炭素合計 (kg-CO2)		H21 基準	H22	H23	H24
	目標	8,211	8,129	8,047	7,965
実績	8,211	6,411			

H21を100としての指数		100	99	98	97
	目標	100	99	98	97
実績	100	78			

製品生産量当り二酸化炭素排出量は、前年比 22%の減少となり、目標を達成した。

環境活動計画に挙げている「作業に支障が無い所の蛍光灯は、常に消灯する」を発展させ、蛍光灯を間引くなどして昨年度の3分の2程度に落としたこと、社用車 2 台を減らしたことは、今年度の特筆できる取り組みであったと自負している。電力消費に伴う二酸化炭素排出量（絶対値）は前年度比較で 31.1%増加、化石燃料の消費に伴う二酸化炭素排出量（絶対値）も 21.2%増加しているが、製品生産量が前年に比べ 63%増加、二酸化炭素排出量の増加率を上回ったことで、大きな成果に繋がったと認識している。生産性向上（効率的な設備稼働）を目指し、作業工数削減につながるような改善提案が 287 件あった事実も添えておきたい。長期計画の初年度で最終年度の目標値を上回ったため、来年度は目標を再設定し、活動していきたい。

紙消費量 「評価＝達成」



製品生産量 (t) 当り 紙消費量 (Kg)		H21 基準	H22	H23	H24
	目標	14.34	14.20	14.05	13.91
実績	14.34	10.52			

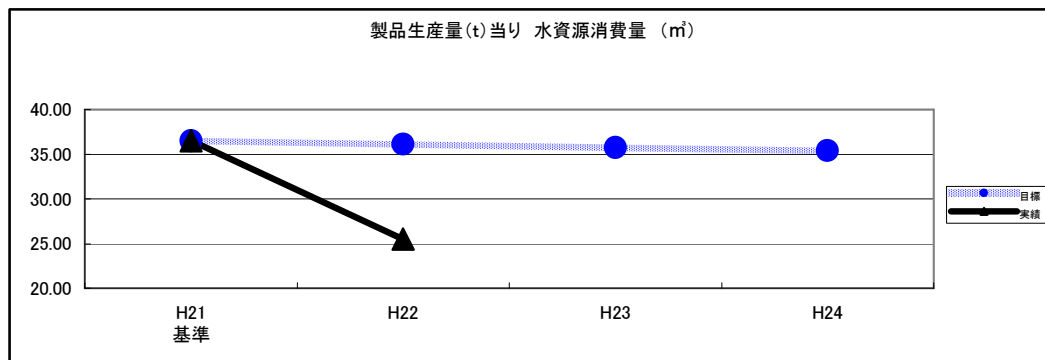
H21を100としての指数		100	99	98	97
	目標	100	99	98	97
実績	100	73			

製品生産量当り紙資源消費量は前年比 27%の減少となり、目標を達成した。

裏紙使用、両面印刷、電子メールの奨励、プロジェクターの利用による会議資料の削減等、地道に積み重ねてきた活動は継続されていた。生産量の増加により、作図や改修連絡、発注の機会が増え、紙資源消費量（絶対値）が前年度比較で 19.7%増加しているが、製品生産量が紙資源消費量の増加率を上回ったことで、大きな成果をあげられたと認識している。

長期計画の初年度で最終年度の目標値を上回ったため、来年度は目標を再設定し、活動していきたい。

水資源消費量 「評価＝達成」



製品生産量 (t) 当り 水資源消費量 (m³)		H21 基準	H22	H23	H24
	目標		36.49	36.13	35.76
実績		36.49	25.52		
H21を100としての指数	目標	100	99	98	97
	実績	100	70		

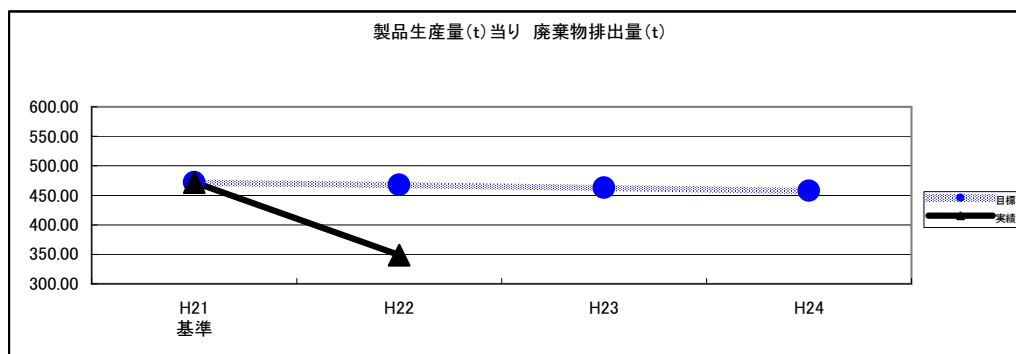
製品生産量当り水資源消費量は前年比 30%の減少となり、目標を達成した。

水資源消費量（絶対値）は前年度比較で 14.1%増加しているが、製品生産量が水資源消費量の増加率を上回ったことで、大きな成果をあげられたと認識している。

手洗い時における溜め水の利用は継続されている。地味ではあるが節約意識の定着には効果的であった。

長期計画の初年度で最終年度の目標値を上回ったため、来年度は目標を再設定し、活動していきたい。

廃棄物排出量 「評価＝達成」



製品生産量 (t) 当り 廃棄物排出量 (t)		H21 基準	H22	H23	H24
	目標		472.14	467.42	462.70
実績		472.14	349.03		
H21を100としての指数	目標	100	99	98	97
	実績	100	74		

製品生産量当り廃棄物排出量は前年比 26%の減少となり、目標は達成された。

梱包材やビニール袋の再利用や廃棄物の分別回収も継続されており、リユース、リサイクルを意識した活動は根付いている。

廃棄物排出量（絶対値）は前年度比較で 24.2%増加しているが、製品生産量が廃棄物排出量の増加率を上回ったことで、大きな成果をあげられたと認識している。

長期計画の初年度で最終年度の目標値を上回ったため、来期は目標を再設定し、活動していきたい。

#### グリーン購入（事務用品）の推進

事務用品について、段階的にグリーン適合品へ移行するように活動してきた。

H22年3月末時点でグリーン適合品への移行が完了しているのは、新潟事業所33アイテム、本社7アイテム、大阪営業所3アイテム、姫路営業所1アイテムであった。

コスト面での折り合いが付いた時点で随時、移行していきたい。

#### ●まとめ

来年度に予定している認証範囲の拡大に向け、本社、大阪営業所、姫路営業所が活動に加わり、全社的な活動の初年度となった。

本社 5人、大阪営業所 2人、姫路営業所 1人という小規模ではあるが、環境活動の全社的活動を行うため、各営業所（本社、大阪、姫路）のスタッフに対し、EA21の概要、新潟事業所における過去の取り組み、今期の活動内容について教育を実施、理解を得て、今年度途中より本格的に活動を開始した。

営業所における H21 年度の環境負荷実績をもとに、新潟事業所用に設定されている現行の各目標（二酸化炭素排出量、紙消費量、水資源消費量、廃棄物排出量）の基準値（H21）を全社用として設定し直し、製品生産量（t）当りという原単位当りの目標設定を行い、各項目の消費量、排出量の削減に向けた活動をしてきた。職場管理職の強いリーダーシップのもと、職場の照明の 1/3 カットや社用車の削減、エアコンからストーブへの切り替え等、環境活動計画で掲げた以上の行動を取ってくれたことに加え、製品生産量の増加（前年比 63%増）の追い風もあり、長期計画の初年度で、全削減項目ともに 3 年後の目標を大きく上回る成果を上げることができた。

長期計画の初年度で、計画最終年度目標を大きく上回る成果を上げたため、来年度は、長期計画の最終年度の目標値、及び短期計画の基準年度、基準値を変更し、活動していきたい。

#### ● 代表者のコメント

全取り組み項目に対し、長期計画を大幅に達成できたことは素直に喜ぶたい。生産量の増加に支えられての効果という印象はあるが、生産量の増加率に比べ、各燃料の消費量の増加率が小さいということは、生産環境における推進者をはじめとする全社員の努力との相乗効果の結果であると思う。

長期計画を大きく上回る成果からして、来期は目標の再設定が必要である。

今年から本格的に活動へ参加した各営業所に対し、取組を開始するのは容易であるが、継続、進歩していくのは簡単にはいかないということを、新潟事業所の経験からアドバイスをしていって欲しい。

3月に発生した東日本大震災は、東北地方に大きな被害をもたらしたと同時に、当社の生産、販売活動を取り巻く環境にも大きな影響をもたらした。また今回の震災を機に、今まで以上にエネルギー消費に対する節減意識を強く持つようになったと思う。被災された地域の方々には一日も早い復興を願う一方で、震災がもたらした資源には限りがあるという教訓を、今後の環境活動に生かしてもらうことを望む。

## ●環境関連教育

教育・訓練年間計画に基づき環境関連教育を実施した。

実施時期	内容	対象者
H22. 5	環境目標と環境活動計画の周知	新潟事業所全員
H22. 6	EA21 導入教育	本社、大阪営業所、姫路営業所全員
H22. 10	消化訓練	新潟事業所消化訓練未経験者
H22. 12	環境目標と環境活動計画の周知	新潟事業所、本社、大阪営業所、姫路営業所 全員

## ●環境関連法規への違反、訴訟等の有無

### 適用となる主な環境関連法規等

主な適用法規 (◎遵守法令、○準用法令)	主な要求事項	評価
◎下水道法	・特定施設の届出 ・事故時の応急処置と届出 ・水質を測定し、その結果を記録	○
◎騒音規制法	・指定区域における規制基準の遵守、特定施設の届出	○
◎振動規制法	・指定区域における規制基準の遵守、特定施設の届出	○
◎悪臭防止法	・指定区域における規制基準の遵守	○
○PRTR法	・当該化学物質の年間排出量、移動量を把握。 ・基準値以上は報告	○
◎高圧ガス保安法	・貯蔵及び取扱い開始の届出	○
◎廃棄物の処理及び清掃に関する法律	・委託契約の書面締結 ・産業廃棄物管理票の管理 ・産業廃棄物管理票の1年間の交付実績報告	○
◎特定家庭用機器再商品化法	・特定家庭機器の廃棄時にリサイクル料金の支払	○
◎使用済自動車の再資源化等に関する法律	・使用済み自動車の適正処理	○
◎消防法	・防火管理者の選任 ・危険物取扱者の選任 ・危険物貯蔵所の許可 ・危険物保管数量の遵守	○
◎有機溶剤中毒予防規則	・有機溶剤作業主任の選任	○
◎新潟県・燕市環境基本条例	・特定施設の届出、規制基準の遵守等	○

各方面からの訴訟等は無かった。  
地域からの苦情は、無かった。

参考として、新潟事業所、各営業所（本社、大阪、姫路）の活動実施状況を以下に記載する。

〔EA21 新潟事業所の活動実施状況〕

①. 電力使用量の削減項目

- ・スイッチに「電気を大切に」の文字を表示し節電意識を図る。
- ・スイッチにマーキングして必要な箇所のみ点灯。
- ・自然光を取り入れ窓側照明を消灯。



- ・休憩時や作業に支障がない照明は消灯。
- ・手洗い場は使用時のみ点灯。



- ・コピー機は使用したら待機状態に、パソコン画面シュレッターは使用后OFF。



- ・未使用機械のブレーカーは切り、エアコンフィルターは年2回清掃。
- ・設備機械の漏電、エア漏れを月1回点検。



- ・無人運転のNC機ディスプレイ画面は消す。
- ・空調温度設定の管理（夏28℃ 冬20度）、デマンドモニターでも監視。



## ②化石燃料消費量の削減項目

- ・ボイラーの設定温度を 55 度、給湯の設定温度は 40 度以内。



- ・エコドライブの実施。(急加速・急発進をしないアイドリングストップ)



## ③紙消費量の削減項目

- ・社内文章のメール化、コピーの縮小機能、裏紙使用で消費量を抑える。
- ・プロジェクター利用で会議用資料の削減。



## ④水消費量削減項目

- ・洗面器を利用して溜め水での手洗いを推進。
- ・バルブにより水圧の調整を行い無駄な水量を抑える。
- ・水道配管等からの漏洩を月 1 回点検。



⑤廃棄物排出量削減項目

- ・ダンボール箱、ビニール袋の再利用。
- ・シャレッターくずは梱包用クッション材として再利用。
- ・トナーカートリッジは回収し再生、安全靴も回収しリサイクル。
- ・廃棄物の分別回収を徹底し、再資源化に協力。



・環境方針



・今年の春に植えた種から芽が出てきました。



[EA21 本社の活動実施状況]

① 電力使用量の削減項目

室内設定の温度設定を、夏は28度、冬は20度にする。



事務所の通常使用する照明スイッチに使用者の名前を貼り、使用時しか点灯させない。スイッチに「電気を大切に」の文字を記載し、節電を常に意識する。



事務所のパソコン・FAX・シュレッダーは、使用時のみ電源を入れる。



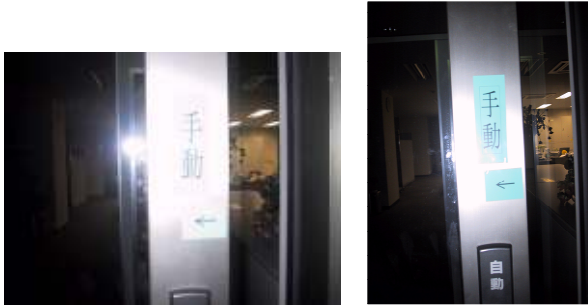
給湯器の使用を必要最低限とし、電源を落としポットを使用する。



エレベーターは極力使用しない。



2階玄関の自動ドアの電源を切り、手動での開閉を徹底し、節電に努めている。



不要な蛍光灯は取り外し、点灯させない。



退社時に空調・照明・パソコン・プリンター等の電源を切る為の確認をする。



## ② 化石燃料消費量の削減項目

社用車に、燃料効率向上のため、「アイドリングストップ実施」のシールを貼る。



## ③ 紙消費量削減項目

コピー機のコピーは、裏紙使用、両面印刷を推進し、紙の消費量を抑えるようにする。



コピー機使用後は、設定をリセットしミスコピーをなくすよう、努める。



ダンボールを再利用し、シュレッダーくずを梱包材として使用している。



④ 水消費量の削減項目

台所に洗面器を設置し、溜め水での使用を徹底する。



年2回、配水管の清掃を実施している。

⑤ 廃棄物排出量削減項目

廃棄物の分別回収を徹底し、再資源化に協力する。インクリボン・トナーカートリッジは、回収・再生し、ペットボトル・缶・金属・ペットボトルキャップ・紙も分別し、リサイクルする。



[EA21 大阪営業所の活動実施状況]

環境方針・環境目標



① 電力使用量の削減項目

室内設定の温度設定を、夏は28度、冬は20度にする。



事務所の通常使用する照明スイッチにマーキングし、必要な時しか点灯させない。



事務所のパソコン類は、使用時のみ電源を入れる、画面のスイッチを切る。



② 化石燃料消費量の削減項目

社用車に、燃料効率向上、エコドライブのシールを貼る。



③ 紙消費量削減項目

コピー機のコピーは、裏紙使用、両面印刷を推進し、紙の消費量を抑えるようにする。



④ 水消費量の削減項目

共同の手洗い場に洗面器を設置し、溜め水での手洗いをする。



⑤ 廃棄物排出量削減項目

廃棄物の分別回収を徹底し、再資源化に協力する。トナーカートリッジは、回収・再生し、リサイクルする。



[EA21 姫路営業所の活動実施状況]

① 電力使用量の削減項目

室内温度設定を夏は 28 度以上、冬は 20 度以下にし、事務所内の照明電源についても不要時には切る事の励行。



事務所のパソコン類は使用時のみ電源をいれるようにし、基本的に不在時にはコンセントを抜くようにする。



② 化石燃料消費量の削減項目

社用車に、燃費効率向上のためのエコドライブのシールを貼って意識向上に努める



③ 紙消費量の削減項目

コピー機のコピーは、極力再生紙の使用と両面印刷を推進し、作成資料も電子データ化のペーパーレス化を推進して、紙の消費量を抑えるようにする。



④ 水消費量の削減項目

別会社の管理となっているため、使用していない。

⑤ 廃棄物排出量の削減項目

廃棄物は、ペーパーレス化に伴い発生しない。